令和２年６月発行

地域連携だより

Face to Face

第37号

役職等はすべて取材日時点のものです。

令和２年度
釜石市在宅医療連携拠点事業推進協議会を開催

在宅医療連携拠点チームかまいしでは、平成 24 年度の設立以降、在宅医療連携拠点事業推進協議会を毎年開催しています。この協議会は、チームかまいしの前年度の活動内容と本年度の事業計画について協議員より意見を頂戴し、承認を受けるもので、在宅医療・介護、多職種連携、地域包括ケアシステムの構築・推進等についてのコンセンサスが形成される「三次連携」の場となっています。

今回の協議会は、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のため、書面決議による形での初めての開催となりました。

その結果、令和元年度在宅医療連携拠点チームかまいしの活動について、及び令和２年度在宅医療連携拠点チームかまいしの活動計画と推進方針（案）については、全員一致で原案のとおり承認されました。推進方針のひとつとして【原点回帰】を掲げ、一次連携に注力する予定ですので、ご協力のほどお願いいたします。

その他、協議員からいただいた意見や多職種連携の満足度について、一部をご紹介します。

◎多職種連携の課題を感じること等について

- 他の職種の方々に先入観を持たずどんどんアタックして連携をさらに深めて行ければと思う。
- 他病院あるいは介護施設等の異なる職種との連携は、まだまだ不充分かと思われる。
- 在宅医療などで自分たちの役割を伝えていく必要がある。
- 日常業務の中で他職種と情報共有（連携）することが当たり前の地域になるとよい。
- 連携するためには、各々の活動を知り尊重することが大事。

◎多職種連携の満足度について

- **協議員に聞いた多職種連携の満足度**
  平均　6.6（10 点満点中 / n=14）
  参考：釜石市・大槌町の各機関の満足度
  平均　5.99
- この満足度を選んだ理由（一部）
  - 一次連携、二次連携、三次連携、地道な活動だが着実に広がりを見せていると感じる。
  - 比較的うまくいっているが、今後、更なる連携が必要とされる。

第 18 回 国立釜石病院　市民公開講座　開催のご案内

日付　7 月 16 日（木）開場 17:30　終了 20:20 予定
場所　釜石市民ホール TETTO フリースペース
内容　18:30「新型コロナ時代に健康に生きるには！」
19:00「男と女の上手なつきあい方
－STAY HOME を新婚でも・倦怠期でも・定年後でも仲良く暮らすには－」
講師　国立釜石病院　院長　土肥 守 氏

- 入場無料、マスク配布あり
- オープンスペースでの開催
- かまいし健康チャレンジポイント対象事業

【問い合わせ】国立釜石病院（TEL0193-23-7111）

東京大学高齢社会総合研究機構との連携事業を紹介します

介護事業所向け研修会を実施しました

講話を聴講する皆さん

日時　令和２年２月 17 日
会場　市保健福祉センター　研修ホール
内容　講話「これからの生活支援と自立支援について」
講師　東京大学高齢社会総合研究機構（以下 IOG）
　　特任講師　後藤純 氏
　　（釜石市地域包括ケア推進アドバイザー）

- 市地域包括支援センターが主催する「令和元年度第３回在宅介護支援センター及び居宅介護支援事業所連絡会議」において講座を開催しました。
- その中で、国が進める介護施策や地域包括ケアシステム等について説明されたほか、「自立支援を目的として①介護予防 ②重度化防止の両面から専門性が発揮されることが求められる」こと、「介護の専門性が十分に発揮されるためにも、それ以外の社会資源（医療、行政、地域活動などインフォーマルサービス等）との連携が必要である」こと等が提案されました。
- その後は個人ワークが行われました。参加した約 40 人の介護支援専門員等の皆さんは、専門職の経験に基づいた意見を交換しました。

事例検討会を開催しました

- 令和元年度、IOG では「老人保健健康増進等事業　釜石市における在宅サービスの確保の在り方に関する調査研究事業」を市との連携により実施しました。
- 実施にあたっては、実際の事例を取り上げ、見守り傾聴支援センターが訪問した結果をもとに行政ら多職種が予後予測等を検討するという手法が取られました。
- ２月 17 日には５回目の検討会が開催されました。これまで検討した 11 ケースについて、「個人因子と環境因子による様々な課題がある。家族の介護力が期待できない昨今、定期巡回傾聴訪問をきっかけとした重度化防止（医療資源・介護資源・社会参加資源に繋ぐ・マッチングすること）は効果的である」という結論が出されました。

訪問歯科診療を行っている歯科医院を公開します

訪問診療を実施している歯科医院について、釜石歯科医師会より情報提供がありましたので、以下のとおり公開します。（釜石歯科医師会に所属し、情報公開について同意した歯科医院のみ）

歯科医院名	電話番号	歯科医院名	電話番号
おいかわ歯科医院（港町）	22-5800	平松歯科医院（野田町）	25-0315
かっし歯科医院（甲子町）	25-2785	三浦歯科クリニック（平田）	55-6480
工藤歯科クリニック（大町）	22-6480	やえがし歯科医院（平田）	36-1182
歯科福成医院（新町）	25-0105	山崎歯科クリニック（中妻町）	23-1111
鈴木歯科医院（中妻町）	23-5908	小松歯科医院（大槌町大槌）	42-7702
早﨑歯科医院（鵜住居町）	28-2311	近藤歯科医院（大槌町小槌）	42-7667

※2020 年３月時点

新型コロナウイルス感染症対策

市では、「釜石市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、注意喚起、各世帯への支援、企業への支援、安全な学校運営の取り組み等、様々な施策を講じています。

➤ 釜石大槌 地域外来・検査センターを開設しました

6月9日、PCR 検査を行うことができる施設として、「釜石大槌 地域外来・検査センター」を開設しました。この施設は、釜石医師会、大槌町、釜石保健所との協力により設置したもので、医師会所属の医師が輪番制で検査を担当します。

万全の態勢で対応します

対象者 風邪の症状や倦怠感などの症状がある人で、かかりつけ医が検査の必要があると判断した、釜石市・大槌町に在住する中学生以上の人

利用の流れ

① **かかりつけ医に電話で相談し、かかりつけ医院を受診します**
※ 相談先として、釜石保健所（TEL25-2710）及びコールセンター（TEL019-651-3175）もご検討ください。
※「帰国者・接触者外来」をご案内する場合があります。

② **「地域外来・検査センター」にて検査を行います**
車で検査を行うドライブスルー方式です。

③ **かかりつけ医が結果を通知します**
通知後はかかりつけ医・保健所職員の指示に従ってください。

開設日時 毎週火曜　18 時 30 分から 20 時 30 分

所 在 地 患者のプライバシーを保持するため、施設の場所は非公開としています。

新しい生活様式の実践を

①人との距離を 2 ㍍開ける
②マスクの着用
③こまめな手洗い
④３密（密閉・密集・密接）を避ける
⑤毎朝の体温測定と健康チェック
⑥買い物は少人数・短時間で
⑦公共交通機関では会話を避ける
⑧大皿料理は避けて個別に

➤ 介護保険事業者等で感染者が確認された場合の対応について

岩手県では、介護保険事業者等で感染者が確認された場合を想定し、防護服やフェイスシールド等の感染防御資材を提供できるよう準備を進めていますが、釜石市においても、市内で感染者が確認され、直ちに対応しなければならない場合に備え、感染防御資材を備蓄しています。市内の事業者において、緊急時に感染防御資材が不足する場合には、市健康推進課までご相談ください。

また、手指消毒やマスク等の感染予防資材は、以前より入手しやすい環境となっていますので、今後の流行期に備えた対応をお願いします。

【問い合わせ】 釜石市健康推進課（TEL0193-22-0179）

第17回「ケア・カフェかまいし」開催

6月2日、当地域で 17 回目となる「ケア・カフェかまいし」が開催されました。

今回は、ウェブ会議システム「Zoom」を使用した初のセッションとなり、市内外から約 30 人の多職種が参加しました。参加者は、慣れない操作に試行錯誤しながらも、「日常」をテーマに会話を楽しみました。

離れた人ともリアルタイムで会話が弾みます

チームかまいしからのお知らせ

今年度のメンバーを紹介します

寺田医師と事務局員…マスク姿で失礼します

令和２年４月１日付け人事異動に伴い、在宅医療連携拠点チームかまいしが置かれている「地域包括ケア推進本部」の職員が変更となりました。

本部長と副本部長はこれまでと同様に野田市長・窪田副市長が務め、小田島事務局長以下、事務局員として佐藤副主幹、中村連携コーディネーターが業務を行います。また、釜石医師会の派遣により、アドバイザーとして寺田尚弘医師（せいてつ記念病院長）より引き続きご意見を頂戴します。

多職種が顔を合わせる機会を設けることが難しいご時世ですが、工夫しながら事業実施に取り組んで参りますので、お付き合いくださいますようお願いいたします。

チームかまいしのフェイスブックページができました

令和２年６月、チームかまいしのフェイスブックページを新規開設しました。

在宅医療連携拠点チームかまいし フェイスブックページ
https://www.facebook.com/teamkamaishi/

チームかまいしが主催・共催・後援・支援するイベントの情報や、圏域で活動する多職種の情報、地域連携だより「Face to Face」更新情報など、多様な情報を発信していきますので、市ホームページと併せてご覧ください。

市役所ホームページ 検索の「コツ」

釜石市ホームページ内でチームかまいしの情報を検索する際は、以下の方法をお試しください。

方法1　ホームページ中央の検索バーに「チームかまいし」と入力しクリック

方法2　ホームページ左上の「釜石市」バナーをクリック

⇒ 写真すぐ下・中央の「健康・福祉」をクリック

⇒ 下部の「在宅医療連携拠点チームかまいし」をクリック

その他　google や YAHOO!などの検索エンジンで「チームかまいし」と検索すると、検索結果の上位に市ホームページ内のチームかまいし情報が表示されます。

編 集 後 記

今年は「クマ出没注意」の防災無線の放送を頻繁に耳にします。近所でもシカやハクビシンなどを目にすることが増えました。人口減で里と山の区別がはっきりしなくなったことも原因の一つだとか。人も動物も、元気はいいことですが、衝突せずに過ごしたいですね(N)

発行／在宅医療連携拠点チームかまいし

〒026-0025
釜石市大渡町3丁目15番26号 保健福祉センター2階
TEL：0193-55-4536　FAX：0193-22-6375
kea@city.kamaishi.iwate.jp
https://www.city.kamaishi.iwate.jp/soshiki/kea/